

湯本駅周辺はスパリゾートとして知られ、市街地は温泉街と商店街が融合するように形成されている。これまで活性化に向けた取り組みとして、市は駅前広場の整備や駐車場の整備、電線類地中化に合わせたコミュニティ道路の整備等を行ってきた。しかし、このようなハード整備では活性化には結びついておらず、日常的な賑わいはなかなか戻ってはいないが、湯本温泉観光組合、温泉旅館組合、商店街、まちづくり団体等、様々な団体が連携して、知恵を絞りながら湯本のまちづくりに取り組んでいる。



温泉を活かしたソフトのまちづくり

JR 常磐線湯本駅前広場



・温泉組合が主体となりモニュメントを設置し、足湯の施設の設置も検討している。

温泉保養所「さはこの湯」



・低料金で気軽に利用でき、多くの人々に利用されている。

湯本温泉コミュニティスペース
「ゆもと上町ホットひろば」



・地域のふれあいの場となっており、様々なイベントにより交流人口の拡大が期待されている。